

かみさい
⑥上西 <千代田町>

人口 309 人、世帯数 93 世帯

上西地区は、千代田町の西端に位置し、クリークと美し田が広がっています。

2,300 年前の海岸線の位置にある貴別当神社には、「徐福伝説」が伝承されており、徐福が有明海に上陸する際の水先案内人といわれる琉球王の子が祀られています。

境内には、「海の石」「山の石」と呼ばれる大きな謎の石や、さが名木 100 選にも選ばれたアベマキ、イチイガシの古木があります。

地元では、地区の鎮守である貴別当神社を「きべっとうさん」と呼び、大切に守っています。



▲徐福伝説の貴別当神社(きべっとうさん)

ちょうおおた
⑤丁太田 <千代田町>

人口 211 人、世帯数 97 世帯

丁太田地区は、千代田町の中央に位置し、千代田中学校の東側にあります。

伝統行事として、氏神さん(若宮神社)で行う秋祭りのしめ縄作りや、百手祭りがあります。百手祭りでは、農作物の豊凶を占う数珠占いをし、地区の厄除祈願のため、中央に鬼と書いた的を矢で射る悪魔払いをします。

他に、御籠りやお日待の行事で住民の安寧と親睦を図っています。

また、子ども見守り隊を結成し、子どもたちの安全、安心を図りながら、祇園さん、焼肉会や海水浴など、子どもとの親睦を深め、地区全員で子どもたちの健全育成と、明るい地区作りに努めています。



▲氏神さん(若宮神社)で行う百手祭り

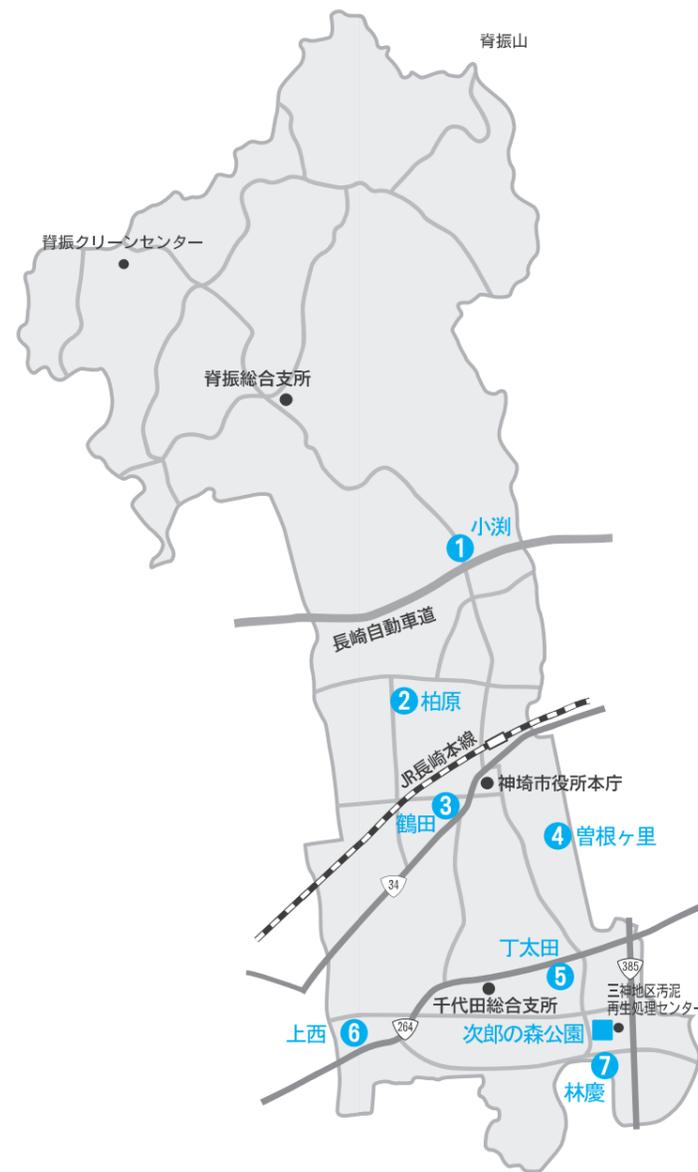
地区紹介 14



市民相互の理解と融和を図るため、市内121地区(神埼:63地区、千代田:49地区、脊振:9地区)を紹介しています。

今回は、7地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成21年3月末日の住民基本台帳のデータです。(施設などを含まず。)



かしわばる
②柏原 <神埼町>

人口 123 人、世帯数 41 世帯

柏原地区は、日の隈山の南側約 800m の位置にある、のどかな田園地帯です。

昔、暴れる大蛇を退治する際に、村人たちが柏木をとって火をくべたことから「柏原」の地名が生まれたと伝えられています。

地区行事は、5月の水路清掃、9月の綾部神社参拝、11月のふるさと探訪ウォーキング、竹栄祭、12月の村祭りなどがあります。

また、1月1日の早朝は、日の隈山頂で初日の出を見た後、公民館でゲーム大会を行い、親睦と融和を図っています。



▲日の隈山頂 初日の出の集合写真

おぶち
①小淵 <神埼町>

人口 336 人、世帯数 109 世帯

小淵は県道三瀬・神埼線と長崎自動車道が交差した位置にあり、「水車の里」が集落のほぼ中央にあります。

昭和 30 年頃までは多数の水車で精米、製粉、製材が盛んで、県道沿いに旅館、病院、米屋、塩屋、酒屋、豆腐屋、等が軒を並べ活況を呈していたそうです。この歴史展示館が「水車の里」です。

主な行事として、毎年夏に子供達中心に実施する「千灯籠」があります。この時の子供相撲は昭和初期から続く伝統行事です。豊作祈願の「お籠り」も含め、時代変化と少子高齢化で種々問題はありますが、伝統行事を集落全員で継続して行こうと頑張っています。



▲水車の里

じろう もりこうえん
■次郎の森公園 <千代田町>

次郎の森公園は、千代田町の東部、県道 15 号線そばに位置しています。

公園内にはクリークに見立てた水路が引かれ、水と緑のある人々の憩いの場として利用されています。アスレチックや広場もあり、「次郎物語」の次郎になった気分です、思いきり走り回ることが出来ます。

また、明治 34 年に田手川と筑後川の合流点に作られた「水門」が復元され、次郎の像とともに公園のシンボルとなっています。

春には、公園内に桜の花やそばの田手川に沿って菜の花が咲き、人々の目を楽しませてくれます。



▲自然と歴史を感じることができる公園

りんけい
⑦林慶 <千代田町>

人口 106 人、世帯数 26 世帯

林慶地区は、旧田手川のU字に曲がった東岸に位置し、林慶という地球に優しい地名は明治になってから迎島五ヶ村の一地区として表示され、地名の起こりに関する資料は見つかりません。

英彦山信仰が盛んな頃、鉄鎖を奉納した林慶の鍛冶屋をはじめ瓦工場、竹細工、精米所、床屋、川魚屋、鍼灸師、豆腐屋、氷屋、染物屋、駄菓子屋、医院と他の地区には無いあらゆる種類の店があった事。それだけに、町東部地区民に親しまれ交通の要所として人馬の往来が盛んでしたが、近代化の時の流れと共にその一部を残し、今は静かな小さくまとまった地区となっています。



▲『次郎』も通った千歳小跡

そねがり
④曾根ヶ里 <神埼町>

人口 85 人、世帯数 19 世帯

曾根ヶ里地区は、神埼町の南部に位置し、吉野ヶ里町と接しています。

以前は大水害で悩まされていましたが、現在は圃場整備や田手川改修も完了し、農業を中心とした緑豊かなやすらぎのある地区になりました。

地区では、子どもクラブの運営や、生け花教室など公民館を拠点とした活動を行い、毎年 12 月の第 2 日曜日には、1 年最後のしめとして、地区を上げての最大イベント、天満宮祭りを行っています。

また、地区防犯対策の一環として、グリーンの上着と帽子を全世帯に配布し、地区住民の安全確保のため、毎日の防犯活動に努めています。



▲地区住民で取り組む防犯対策

つるだ
③鶴田 <神埼町>

人口 355 人、世帯数 128 世帯

鶴田地区は、神埼橋西側の城原川沿いに、国道 34 号線を挟んで、南北に広がっています。

昭和 51 年頃までは、30 戸前後でしたが、現在は、140 戸前後に増え、また県立神埼清明高等学校もあり、にぎやかになりました。

地区では、年に 3 回(春夏秋冬)、天満宮祭が開催され、区民の祈願と親睦、友好の良き場となっています。祭殿には、石作りの祭壇があり、「南無大天満自在天神」と記されています。また、お地蔵さんには、「三界萬靈王(富村中)」と書かれ、地区が豊かになるようにとの願いをこめて祭られています。

今後とも、地区住民の交流、親睦、そして和を図っていききたいと思ひます。



▲地区の敬老会